

平成29年度 第2回「弁当の日」

夏の暑さが過ぎて少し涼しい風の吹く季節になり、早いもので学年が上がって半年が経ちました。子どもたちが日に日に成長していく姿が見られ心動かされています。

さて、5月の春の遠足で第1回「弁当の日」を行い、子どもたちの弁当作りの意欲に驚かされました。そこで、2学期も第2回「弁当の日」を予定しております。前回同様に児童の発達段階に応じて、各学年の取り組み目標や各回のテーマを立てておりますが、こちらはあくまで参考程度に、子どもたちの「できることから」「楽しんで」挑戦することを大切に、食への興味・関心を高めていければと思います。

また、「弁当の日」の第1目標は、「買い出しから調理、片づけまでを子どもたちが自分ですること」ですが、幼稚園、小学校の子どもたちにはまだまだ保護者の方の助けが必要です。またお弁当作りを通して、今一度我が子の成長や親子のふれあいが増えたらなと思っています。朝のお忙しい時間帯に恐れ入りますが、子どもたちの「できた！」が一つでも増えるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 実施日：平成29年10月17日（火）※この日は給食は出ません

2. 今回のテーマ「スタミナ弁当」

スポーツの秋を元気に過ごそう♪

3. 各学年の取り組み目標

幼稚園、小学1・2年生：①家族と一緒に献立を考える

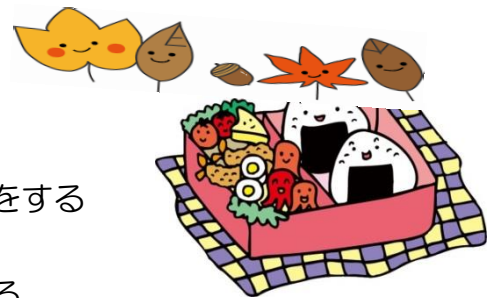
②家族と一緒に食材の買い物をする

小学3・4年生：①家族と一緒に献立を考える

②調理のお手伝いをし、弁当箱につめる

小学5・6年生：①自分でお米を研ぎ、炊く

②栄養バランス(赤・黄・緑)のよい献立を考え、家族と一緒に調理し、弁当を作る



4. 取り組みにあたっての注意点

(1) できることから挑戦する！

(2) 人と比べない！（自分で作ったお弁当は、たった一つの最高のお弁当です♪）

(3) 先生たちも自分で手作りに挑戦します！お楽しみに♪

保健室前に
島野菜について
掲示しています♪
参考にしてみてくださいね



島の野菜使ってみよう♪



【参考資料】

竹下和男先生「弁当の日 応援プロジェクト」ホームページより抜粋



子どもが作る「弁当の日」とは？



2001年、香川県の小学校で竹下和男校長（当時）が始めた「弁当の日」。子どもが自分でお弁当を作って学校に持ってくるという取り組みです。何を作るかを決めることも、買い出しも、調理も、弁当箱に詰めるのも、片付けも、子どもがします。親も先生も、その出来具合を批評も評価もしないという約束です。

この取り組みを通じ、子どもたちは感謝の心を知り、自己肯定感が育まれています。失敗の中から多くを学び、生きる力を身に付けています。

大人たちは見守る大切さを知り、子どもの成長を通じて子育てが楽しいと思えるようになっていきます。家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになっていきます。

そんな好循環が「弁当の日」を通じて全国に広がりはじめています。2015年4月現在、「弁当の日」実施校は全国で1700校を超えるまでになりました。